

様式 1

授業科目 医療福祉機器論			科目コード番号	
【担当教員名】 大鍋 寿一	対象学年	2	対象学科	理学・社会
	開講時期	前期	必修・選択	選択・選択
	単位数	2	時間数	30
【概要及び学習目標】				
<p><概略></p> <p>医療福祉機器および、施設設備の基本について学習し、さらにその臨床応用に際してテクニカルエイド（医療福祉機器）の適用技術ならびにその安全性・信頼性の確保について理解を深める。各種医療福祉機器について個別にとりあげ、それらの基礎知識といかに適用するかを理解することに努める。</p> <p><学習目標></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療福祉機器の必要な背景を理解し、自分達の役割を認識する。 2. 共用品・ユニバーサルデザインの基本的考え方を理解し、その応用例（施設設備、自助具等）の知識を付ける。 3. 各種車いす等移動医療福祉機器についての知識を深めるとともに、人間と医療福祉機器の相互関係を理解する。 4. 介助用品ならびに姿勢保持システム、クッションの知識をつける。 5. コンピュータ利用生活環境関連機器の知識をつけ、その応用技術を理解する。 				
回数	学習の主題	学習内容		学習方法
1	医療福祉機器の必要性	医療福祉機器の必要な背景について学ぶ。		講義
2	医療福祉技術の変遷	社会的ニーズにもとずいた医療福祉技術の変遷について学ぶ。		講義
3	医療福祉技術の課題	医療福祉用具の研究・開発の課題（ニーズ、規格等）について学ぶ。		講義
4	ユニバーサルデザイン	共用品・ユニバーサルデザインの基本的考え方とその例について学ぶ。		講義
5	自助具	生活の中の自助具ならびに共用品・ユニバーサルデザインの例の追加。		講義
6	車いす総論	車いすの歴史、種類、基本構造等車いすの概要について学ぶ。		講義
7	各種車いす	各種車いすについて学ぶ。		講義
8	各種車いす	各種車いすについて学ぶ。		講義
9	姿勢保持システム	シーティング姿勢保持システム、クッションについて学ぶ。		講義
10	各種歩行支援機器	各種歩行器（車）（含むジンジャー）、杖、その他歩行支援機器について学ぶ。		講義
11	介助用品	介助用品（各種昇降装置・リフター等、移乗アシスト器具を含む）について学ぶ。		講義
12	生活環境関連機器・技術	生活環境関連機器（各種ベット・入浴関連機器等）・技術について学ぶ。		講義
13	コミュニケーション関連機器	障害者用コンピュータ、コミュニケーション関連機器について学ぶ。		講義
14	ネットワーク利用福祉機器	ネットワーク利用福祉機器について学ぶ。		講義
【評価方法】				
定期試験・レポート・出席状況から総合的に評価する。				
【履修上の留意点】				
医療福祉機器分野の基本的な講義である。				

【使用図書】				
教科書・参考書等	書名等	著者名	発行所	発行年・価格・その他
教科書	バリアフリーのための福祉技術入門	足立芳寛・後藤芳一監	オーム社	1998年・3,800円
参考書	車いすのヒューマンデザイン 作業療法学全書第9巻「義肢・装具学、 リハビリテーション関連機器 作業療法技 術論1」	田中 理・大鍋寿一監 古川 宏・黒岩貞枝編	医学書院 協同医書出版	2000年・4,500円 2001年・3,500円
その他 (プリント等)	随時プリントも使用する。			